

藻類

目次

緑藻のいわゆるミドリウズミモ (*Chlorochytrium inclusum*)
 の遊走子の発達について宮地和幸・黒木宗尚 121
 モズク藻体における単子嚢と中性複子嚢の形成四井敏雄 130
 種々の培養条件下における無節サンゴモ3種の初期発生
 (子報)能登谷正浩 137
 二、三海藻の命名法上の問題点吉田忠生 143
 本邦沿岸におけるプラシノ藻の分布について
 (2)堀輝三・谷本静史・千原光雄 146
 神奈川県における *Eudorina* (ボルボクス科 緑藻類)
 の分類と分布について楠元守・園田幸朗・夏目正巳・小沢肇 149
 新刊紹介 148
 ニュース 129, 165
 学会録事 166
 外国会員へのお知らせ 171

日本藻類学会々則

- 第 1 条 本会は日本藻類学会と称する。
- 第 2 条 本会は藻学の進歩普及を図り、併せて会員相互の連絡並に親睦を図ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は前条の目的を達するために次の事業を行う。
1. 総会の開催（年 1 回） 2. 藻類に関する研究会、講習会、採集会等の開催
3. 定期刊行物の発刊 4. その他前条の目的を達するために必要な事業。
- 第 4 条 本会の事務所は会長が適当と認める場所におく。
- 第 5 条 本会の事業年度は 1 月 1 日に始まり、同年 12 月 31 日に終る。
- 第 6 条 会員は次の 4 種とする。
1. 普通会員（藻類に関心を持ち、本会の趣旨に賛同する個人で、役員会の承認するもの）。
2. 団体会員（本会の趣旨に賛同する団体で、役員会の承認するもの）。
3. 名誉会員（藻学の発達に貢献があり、本会の趣旨に賛同する個人で、役員会の推薦するもの）。
4. 賛助会員（本会の趣旨に賛同し、賛助会員会費を納入する個人又は団体で、役員会の推薦するもの）。
- 第 7 条 本会に入会するには、住所、氏名（団体名）、職業を記入した入会申込書を会長に差出すものとする。
- 第 8 条 普通会員は毎年会費 3000 円（学生は半額）を前納するものとする。但し、名誉会員（次条に定める名誉会長を含む）は会費を要しない。外国会員の会費は 4000 円とする。団体会員の会費は 4000 円とする。賛助会員の会費は 1 口 10,000 円とする。
- 第 9 条 本会には次の役員を置く。会長 1 名。幹事 若干名。評議員 若干名。会計監事 2 名。役員の任期は 2 ケ年とし重任することが出来る。但し、会長と評議員は引続き 3 期選出されることは出来ない。役員選出の規定は別に定める。（付則第 1 条～第 4 条）本会に名誉会長を置くことが出来る。
- 第 10 条 会長は会を代表し、会務の全体を統べる。幹事は会長の意を受けて日常の会務を行う。会計監事は前年度の決算財産の状況などを監査する。
- 第 11 条 評議員は評議員会を構成し、会の要務に関し会長の諮問にあずかる。評議員会は会長が招集し、また文書をもって、これに代えることが出来る。
- 第 12 条 1. 本会は定期刊行物「藻類」を年 4 回発行し、会員に無料で頒布する。
2. 「藻類」の編集・刊行のために編集委員会を置く。 3. 編集委員会の構成・運営などについては別に定める内規による。

（付 則）

- 第 1 条 会長は国内在住の全会員の投票により、会員の互選で定める（その際評議員会は参考のため若干名の候補者を推薦することが出来る）。幹事は会長が会員中よりこれを指名委嘱する。会計監事は評議員会の協議により、会員中から選び総会において承認を受ける。
- 第 2 条 評議員選出は次の二方法による。
1. 各地区別に会員中より選出される。その定員は各地区 1 名とし、会員数が 50 名を越える地区では 50 名までごとに 1 名を加える。
2. 総会において会長が会員中より若干名を推薦する。但し、その数は全評議員の 1/3 を越えることは出来ない。
地区割は次の 7 地区とする。北海道地区。東北地区。関東地区（新潟、長野、山梨を含む）。中部地区（三重を含む）。近畿地区。中国・四国地区。九州地区（沖縄を含む）。
- 第 3 条 会長、幹事及び会計監事は評議員を兼任することは出来ない。
- 第 4 条 会長および地区選出の評議員に欠員を生じた場合は、前任者の残余期間次点者をもって充当する。
- 第 5 条 会員がバックナンバーを求めるときは各号 750 円とし、非会員の予約購読料は各号 1500 円とする。
- 第 6 条 本会則は昭和 51 年 1 月 1 日より改正施行する。